

VPN ログイン保護機能 らく認 2 移行手順

1. 事前準備

らく認 2 への移行にあたり、ご利用の認証方式によって事前準備の内容が異なります。

認証方式	事前準備
ハードウェアトークン（OTP）	不要
らく認アプリ（OTP）	必要（らく認 2 アプリのアクティブ）

■ハードウェアトークンをご利用のお客様

事前作業は不要です。

移行後も、引き続き現在ご利用中のハードウェアトークンをご利用いただけます。

■らく認アプリをご利用のお客様

移行後、従来のらく認アプリは利用できません。認証にはらく認 2 アプリをご利用いただくため、移行作業前にらく認 2 アプリのアクティブを実施してください。

【重要】

- ・VPN クライアントの設定変更は不要です、VPN サーバー側（RADIUS Server）の設定のみ変更します。
- ・移行前にらく認 2 アプリをアクティブしていないユーザーは、移行後に VPN 認証を利用できません。対象ユーザー全員のアクティブを、移行作業前に完了してください。

2. らく認 2 アプリのアクティブ手順

① らく認 2 管理画面へログイン

以下の URL へアクセスします。

<https://admin2.rakunin.co.jp/welcome>

※管理者のログイン ID およびパスワードは、現在ご利用中のらく認管理画面と同一です。

② アクティブ画面を開く

[ユーザー] → [ユーザーリスト] 画面を開き、「らく認 2 アプリのアクティブ」をクリックします。

③ アクティブメールを送信

対象ユーザーを選択し、「メール」をクリックします。

④ ユーザーによるアクティブ

対象ユーザーは、**らく認 2 アプリ**をダウンロードし、送信されたメールに記載された QR コードを読み取ってアクティブを実施してください。

アプリのダウンロード方法およびアクティブ手順については、以下の利用者マニュアルをご参照ください。

らく認 2 ヘルプセンター（モバイルアプリ利用者マニュアル）

<https://docs.rakunin.co.jp/user-mobile>

以上の作業を、**らく認 2 への移行前**に完了してください。

3. 移行手順

① 現在の設定を記録する

VPN 管理画面の RADIUS Server 設定を開きます。

万一の切り戻しに備え、現在の設定内容（Server IP、Secret）を控え、設定画面のスクリーンショットを保存してください。

② RADIUS Server の IP アドレスを変更する

RADIUS Server 設定の Server IP を、らく認 2 認証サーバーの IP アドレスへ変更します。

Secret は変更不要です。

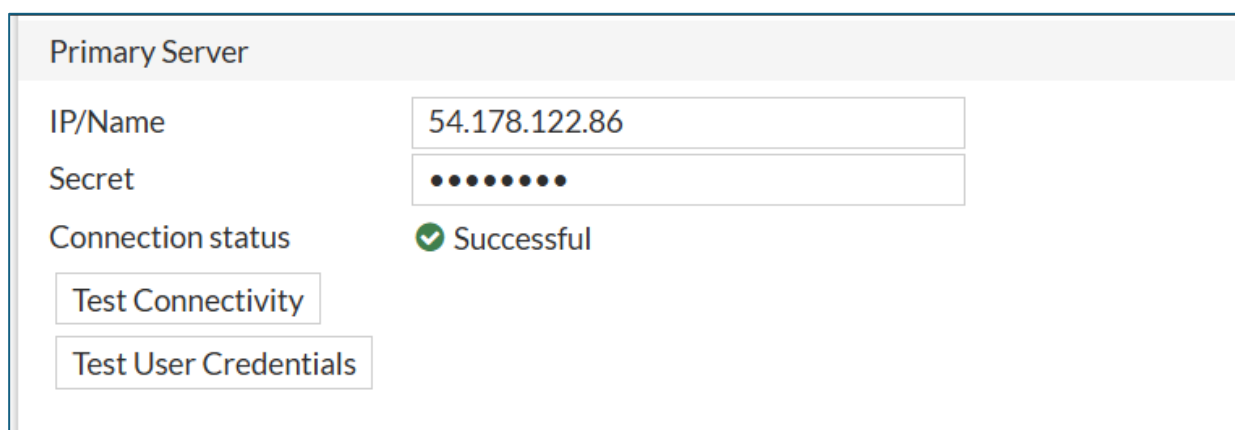
※らく認認証サーバーの IP アドレス：**54.178.122.86**

③ 接続確認を実施する

設定を保存後、「Test Connectivity」を実行し、接続が正常であることを確認してください。

接続に成功した場合は、設定を保存してください。

接続に失敗した場合、設定を保存せず、エラー画面のスクリーンショットを取得のうえ、弊社までご提供ください。



Primary Server	
IP/Name	54.178.122.86
Secret	
Connection status	✓ Successful
<button>Test Connectivity</button>	
<button>Test User Credentials</button>	

図 1 FortiGate RADIUS Server 設定例

④ 動作確認

手順③の接続が成功の場合、実際に VPN へ接続し、OTP 認証が正常に行われることを確認してください。

問題がなければ、VPN 認証のらく認 2 への移行は完了です。

4. 問題が発生した場合

「Test Connectivity」またはクライアント VPN 認証でエラーが発生した場合は、そのまま運用を開始せず、以下の情報をご提供ください。

- エラーメッセージ
- VPN 管理画面のスクリーンショット
- 設定内容（Server IP、Secret など）

弊社にて原因を調査いたします。

調査の間は、RADIUS Server の設定を移行前（らく認）の設定へ戻して運用を継続してください。